

# 「南十字星を求めて」

桑田直宏

目標の一つだった日本から見える南十字星を求めて、ゴールデンウィークに沖縄県の小浜島に行ってきた。表向きの理由は妻との旅行だった。2人で行ってみたいところに沖縄の離島があったので、秘密裡に南十字星が見える最適の島と宿泊場所を調べた。本当は波照間島が天体観測には最適なのだが、「星を見るには最高」イコール「何もないところ」なので除外。妻の意見でゴルフもできる星野リゾートがある小浜島にした。ネットで調べると、10分ほど歩くとプライベートビーチがあり、夜になると光害のない最高の星空が見えると書いてあるのだ。



小浜島は八重山諸島の島で、石垣島からは高速船で行く。近くには有名な竹富島がある。地理的には沖縄本島より台湾の方が近い位置にある。伊丹空港 8 時発の飛行機を那覇で乗り継ぎ、石垣空港に到着したのが 14 時 30 分。ここから有名な川平湾にタクシーで向かう。グラスボートできれいなサンゴ礁を観光した後、タクシーで離島ターミナルに向かった。

10 分も走ると山の上に国立石垣島天文台の白いドームが見えてきた。急に思いついたかのように装って、ちょっと立ち寄ることにした。天文台に電話をすると、内部の公開は終わっているが、外からの撮影なら可能とのこと。ドームをバックに記念撮影をする。海からの塩害と台風の影響からか、ドームの痛みはかなり進んでいた。天文台の南には島で唯一の大きな町が目に見える。もっといい場所がいくらでもあるのにと個人的に思う。

離島ターミナルから高速船に乗って 25 分で小浜島についた。迎えのバスに乗って 2 泊する星野リゾートリゾナーレ小浜島に向かった。ここはゴルフ以外に何もない。何もしないことに価値観を感じる人のためのホテルである。



石垣島天文台で記念撮影

初日の夜は次々と雲が流れてきて、晴れそうな雰囲気ではなかった。明日のゴルフに備えて早く床に就いた。翌日の天気は快晴だった。ゴルフ終了後、仮眠を取って夜に備える。アプリで確認すると、南十字星が南中するのは 22 時 30 分頃。ロケハンしておいた場所に歩いて向かった。

真っ暗なビーチに着くと、たくさんの方がいるではないか。宿が星空ツアーをしていたのだ。みんなここで南十字星が見えることを知っているようである。空はほぼ全天快晴だったが、肝心の南の水平線あたりだけは雲があり、見えてるはずの南十字星が見えない。

水平線あたりの雲を観察していると、西の方は星が見えている。長年の勘でもう 1 時間もすると晴れそうな感じである。しばらくすると星空ツアーが終了したようでほとんどの人が帰ってしまった。皮肉なことに、その後になって南十字星が見えてきた。しっかりと 4 つの星が確認できる。ちょうど 3 年ぶりの再会である。



ソニーRX100 M7 24 mm F2.8 4月28日 60秒露出 沖縄県八重山郡 小浜島

撮影の合間に 10×42防振双眼鏡を南十字星に向けてみた。4 つの星を確認した後、すぐ横にある宝石箱(NGC4755)が見えるかなと双眼鏡を動かしてた、すると、はっきりと確認できるではないか。色こそわからないが見えるだけでもびっくりである。

それならばと、少し西にある大きな散開星団 NGC3532 に向けた。すると視野には散開星団とともにうっすらとエータ・カーリーナ星雲も確認することができた。空の暗さと透明度に恵まれたからであろう。自分のわがままを聞いてくれた妻には感謝しかない。

